

## 予算決算常任委員会（教育福祉部会）記録

| 令和7年 第5回定例会 |                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時       | 令和7年12月17日（水）<br>午前11時40分 開会<br>午後12時17分 閉会                                                          |
| 2 場 所       | 第1委員会室                                                                                               |
| 3 出席委員      | 石川 さやか 部会長<br>鹿妻 武 洋 副部会長<br>早川 勝 弘 委員<br>駒場 久 和 委員<br>宇賀神 敏 委員<br>橋本 修 委員<br>谷中 恵 子 委員<br>大島 久 幸 委員 |
| 4 欠席委員      | なし                                                                                                   |
| 5 委員外出席者    | なし                                                                                                   |
| 6 説明員       | 別紙のとおり                                                                                               |
| 7 事務局職員     | 小太刀 議会事務局長<br>永 山 書記                                                                                 |
| 8 会議の概要     | 別紙のとおり                                                                                               |
| 9 傍聴者       | なし                                                                                                   |

予算決算常任委員会（教育福祉部会） 説明員

| 職 名      |                  | 氏 名   | 人 数  |
|----------|------------------|-------|------|
| 副市長      |                  | 福田 義一 | 1 名  |
| 教育長      |                  | 中村 仁  | 1 名  |
| 保健福祉部    | 保健福祉部長           | 青木 康子 | 9 名  |
|          | 厚生課長             | 高根澤秀明 |      |
|          | 福祉まるごと相談室長       | 松島 誠  |      |
|          | 障がい福祉課長          | 松島 貴行 |      |
|          | 高齢福祉課長           | 長谷川ルミ |      |
|          | 介護保険課長           | 根本 幸子 |      |
|          | 保険年金課長           | 山形 弘行 |      |
|          | 健康課長             | 柏熊 隆夫 |      |
|          | 厚生課地域福祉係長        | 丑越 佑介 |      |
| こども未来部   | こども未来部長          | 杉山 芳子 | 5 名  |
|          | 子育て支援課長          | 古橋 芳一 |      |
|          | 保育課長             | 渡辺 稔近 |      |
|          | こども・家庭サポートセンター所長 | 飯塚 利幸 |      |
|          | 子育て支援課こども支援係長    | 鈴木 祥公 |      |
| 教育委員会事務局 | 教育次長             | 佐藤 靖  | 12 名 |
|          | 教育総務課長           | 大出 知恵 |      |
|          | 学校再編推進室長         | 田仲 史枝 |      |
|          | 学校教育課長           | 羽山 好明 |      |
|          | 教育指導担当           | 吉江 紫  |      |
|          | 生涯学習課長           | 中村 陽子 |      |
|          | 文化課長             | 永岡 弘章 |      |
|          | スポーツ振興課長         | 神山 悦雄 |      |
|          | 学校給食共同調理場長       | 平田 昌代 |      |
|          | 図書館長             | 市川佳代子 |      |
|          | 川上澄生美術館事務長       | 戸崎 守  |      |
|          | 教育総務課総務政策係長      | 倉持 浩久 |      |
| 合 計      |                  |       | 28 名 |

予算決算常任委員会（教育福祉部会） 審査事項

- 1 議案第 7 2 号 令和 7 年度鹿沼市一般会計補正予算（第 7 号）について
- 2 議案第 7 3 号 令和 7 年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 3 議案第 7 4 号 令和 7 年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 4 議案第 7 5 号 令和 7 年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について

## 令和7年第5回定例会 予算決算常任委員会（教育福祉部会）概要

○石川部会長 それでは、ただいまから、予算決算常任委員会、教育福祉部会を開会いたします。

今議会におきまして、本部会に付託されました案件は議案4件であります。

なお、本部会においては、質疑のみとし、採決につきましては、12月22日に開催される予算決算常任委員会後期全体会において、部会長報告、質疑、委員間討議、採決を行う予定となっております。

それでは、早速、審査を行います。

はじめに、議案第72号 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算についてを議題といたします。

執行部の説明をお願いします。

高根澤厚生課長。

○高根澤厚生課長 厚生課長の高根澤です。

よろしくお願いします。

議案第72号 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第7号）中、保健福祉部が所管する、主な歳入、歳出についてご説明いたします。

まず、歳入について、ご説明いたします。

3ページをお開きください。

上から3段目、15款 国庫支出金 1項1目1節 社会福祉費国庫負担金1億4,544万円の増につきましては、障害者自立支援事業費の障害者介護給付費、及び障害児給付費の実績の見込みを計上するものであり、補助率は2分の1であります。

次に、同じ段の3節 説明欄の3行目 生活保護扶助費国庫負担金6,825万3,000円の増につきましては、生活扶助費等の実績の見込みを計上するものであり、補助率は4分の3であります。

次に、下から2段目の段、16款 県支出金1項1目1節 社会福祉費県負担金7,272万円の増につきましては、障害者自立支援事業費の障害者介護給付費、及び障害児給付費の実績の見込みを計上するものであり、補助率は4分の1であります。

次に、5ページをお開きください。

下から2段目、21款 諸収入 4項3目 雑入 1節 説明欄の2行目、障害者自立支援事業費国県精算金8,072万4,000円の増につきましては、過年度の事業実績に基づく精算に伴い、計上するものであります。

同じ説明欄4行目、自立支援給付費返還金919万3,000円の増につきましては、給付費の過大請求に対する返納分を計上するものであります。

次に、歳出について、ご説明いたします。

まず、教育福祉常任委員会が所管する2款 総務費、3款 民生費、4款 衛生費及

び10款 教育費のそれぞれの事業につきまして、1節 報酬、2節 給料、3節 職員手当、4節 共済費の増減額を計上しておりますが、過日の議員全員協議会におきまして改正内容についてご説明させていただきましたとおり、人事院勧告に準じ、月例級の改定率3.62%、賞与につきましては、0.05カ月分の引き上げとなる改定を行うとともに、当初予算に計上しました職員配置に対しまして、実績に基づき事業費の増減の調整を行うものであります。

それでは、13ページをお開きください。

3段目、3款 民生費 1項1目 社会福祉総務費の説明欄、4つ目の○、国民健康保険特別会計繰出金866万7,000円、5つ目の○、介護保険特別会計繰出金1,086万3,000円、6つ目の○、後期高齢者医療特別会計繰出金202万4,000円の増につきましては、人事院勧告に伴う人件費の増額に伴いまして、一般会計からの繰出金を計上するものであります。

次に、同じ段の2目 障害福祉費、説明欄2つ目の○、障害者自立支援事業費 2億9,458万円の増につきましては、主にグループホームの入居者や放課後等デイサービスの利用者増加分の給付費と、歳入で説明いたしました自立支援給付費返還金のうち、国・県への償還金を計上するものであります。

15ページをお開きください。

次に、一番上の説明欄1つ目の○、地域生活支援事業費 444万円の増につきましては、移動支援事業、訪問入浴サービス等の利用増加分を計上するものであります。

次に、同じ説明欄3つ目の○、重度心身障害者医療対策事業費 522万9,000円の増につきましては、重度心身障害者医療費助成の実績見込みを計上するものであります。

次に、17ページをお開きください。

上から2段目、3款 民生費 3項2目 扶助費の説明欄2つ目の○、生活保護扶助費9,100万5,000円の増につきましては受給世帯の増加に伴う生活扶助費及び住宅扶助費に加えまして、医療費の伸びを勘案し、医療扶助費に、実績に基づく見込みを計上するものであります。

続きまして、38ページをお開きください。

債務負担行為の補正に関する調書の、今回追加にかかわる分についてご説明いたします。

2 予防接種費につきましては、次年度の個別接種用ワクチンの購入費用になりまして、ワクチン事業を年度当初から速やかに実施するため、今年度中に購入契約をする必要があることから、7,113万5,000円を上限とする債務負担行為を設定するものであります。

以上で、議案第72号 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第7号）中、保健福祉部が所管する主な歳入、歳出についての説明を終わります。

○石川部会長 古橋子育て支援課長。

○古橋子育て支援課長 はい、子育て支援課長の古橋です。

よろしくお願いいたします。

議案第 72 号 令和 7 年度鹿沼市一般会計補正予算（第 7 号）のうち、こども未来部が所管する、主な歳入・歳出についてご説明いたします。

令和 7 年度補正予算に関する説明書、3 ページをお開きください。

まず、歳入についてご説明いたします。

上から 4 番目の段、15 款 国庫支出金 2 項 2 目 民生費国庫補助金 2 節 児童福祉費国庫補助金の説明欄、いちごっこ出産・子育て応援給付事業費国庫補助金 73 万 3,000 円の増につきましては、妊婦のための支援給付を実施するための、自治体間情報連携に係るシステム改修に対する補助金で、補助率は 3 分の 2 であります。

5 ページをお開きください。

一番上の段、16 款 県支出金 2 項 2 目 民生費県補助金 2 節児童福祉費県補助金の説明欄、施設型給付・地域型保育給付等事業費県補助金 1,109 万 7,000 円の増につきましては、民間保育園等に対する、給食費保護者負担軽減のための補助金であります。

次に、その下の 3 目 衛生費県補助金 1 節 保健衛生費県補助金の説明欄、こども医療対策事業費県補助金 393 万 9,000 円の増につきましては、こども医療費助成に対する補助金であります。

次に、歳出についてご説明いたします。

15 ページをお開きください。

下の段、3 款 民生費 2 項 1 目 児童福祉総務費から、17 ページをお開きください。児童福祉総務費が続きます。

一番上の段、説明欄の○、施設型給付・地域型保育給付等事業費 227 万 4,000 円の増につきましては、先ほど歳入のところで説明しましたとおり、民間保育園等に対する、給食費保護者負担軽減事業費補助金の単価が上がったことにより、不足分を計上するものであります。

その下の 3 目 こども支援費の説明欄 1 つ目の○、こどもみらい基金積立金 1,636 万 7,000 円の増につきましては、ふるさと納税者からの寄附金の見込により、積立金を計上するものであります。

同じ説明欄 2 つ目の○、いちごっこ出産・子育て応援給付事業費 118 万 6,000 円の増につきましては、人事院勧告に伴う人件費のほか、先ほど歳入のところで説明しましたとおり、妊婦のための支援給付を実施するための自治体間情報連携に係るシステム改修の委託料を計上するものであります。

19 ページをお開きください。

一番上の段、4 款 衛生費 1 項 6 目 子育て支援保健対策費の説明欄 1 つ目の○、こども医療対策事業費 3,040 万 2,000 円の増につきましては、人事院勧告に伴う人件費のほか、上半期のこども医療費助成額の実績推移から、不足が見込まれるため、医療扶

助費を計上するものであります。

以上で、議案第 72 号 令和 7 年度鹿沼市一般会計補正予算（第 7 号）のうち、こども未来部が所管する主な歳入・歳出についての説明を終わります。

○石川部会長 大出教育総務課長。

○大出教育総務課長 はい、教育総務課長の大出です。

よろしくお願いいたします。

議案第 72 号 令和 7 年度鹿沼市一般会計補正予算（第 7 号）のうち、教育委員会が所管します歳入は今回はありませんので、主な歳出についてご説明いたします。

令和 7 年度補正予算に関する説明書 27 ページをお開きください。

4 番目の段、10 款 教育費 1 項 2 目 事務局費の右側の説明欄、28 ページの 4 番目の○、スクールバス管理費 78 万 1,000 円の増につきましては、燃料費単価の上昇に伴い、燃料費の増額を計上するものであります。

続きまして、29 ページをお開きください。

2 番目の段、10 款 教育費 2 項 1 目 学校管理費の右側の説明欄、30 ページの 2 番目の○、小学校管理費 475 万 7,000 円の増につきましては、小学校のエアコンの使用が増えたことに伴い、電気料の増額を計上するものであります。

3 番目の段、10 款 教育費 3 項 1 目 学校管理費の右側の説明欄、1 番目の○、中学校管理費 789 万 5,000 円の増につきましては、人事院勧告に伴う人件費の増額のほか、小学校同様、中学校のエアコンの使用が増えたことに伴う電気料の増額を計上するものであります。

次に、その下の 2 目 教育振興費の右側の説明欄の○、教材教具購入費 100 万円の増につきましては、昨年度、東中学校の教育の充実のためにと寄附をいただいた寄附金を活用し、東中学校の備品としてスピーチプロンプターを購入するために計上するものであります。

一番下の段、10 款 教育費 5 項 2 目 体育施設費の右側の説明欄、1 番目の○、体育施設管理運営費 231 万円の増につきましては、千手山公園市民プールのロボット掃除機の更新にかかる経費を計上するものであります。

次に、31 ページをお開きください。

体育施設費が続きます。

右側の 1 番目の○、体育施設維持補修費 213 万 4,000 円の増につきましては、御殿山公園の樹木伐採に要する経費を計上するものであります。

次に、その下の 3 目 学校給食費の右側の説明欄、1 番目の○、学校給食事業費 176 万 6,000 円の増につきましては、人事院勧告に伴う人件費の増額のほか、北押原地区学校給食共同調理場にある冷凍冷蔵庫に不具合が生じているため、購入するための費用を計上するものであります。

続きまして、38 ページをお開きください。

債務負担行為の補正に関する調書の、今回追加に係る分についてご説明いたします。

1 自然体験交流センター管理運営費につきましては、自然体験交流センターで提供する食事の調理業務を委託するもので、令和8年度の新たな契約を締結する必要があることから、1,000万円を上限として債務負担行為を設定するものです。

以上で、議案第72号 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第7号）のうち、教育委員会が所管します主な歳出についての説明を終わります。

○石川部会長 執行部の説明は終わりました。

質疑のある方は順次発言を許します。

早川委員。

○早川委員 はい、資料14ページの説明欄の、先ほど一番下でありました障害者自立支援事業費ですが、補正の金額としては2億9,400万円と、桁違いで、3億円に近いということで、これは当初予算ではここまで見立てというのができなかった、また見立ての何か問題点があるのかお伺いします。

○石川部会長 執行部の説明をお願いします。

はい、どうぞ。

○松島障がい福祉課長 はい、障がい福祉課長の松島です。

よろしくお願いいたします。

はい、ただいまの早川委員のご質疑にお答えいたします。

まず、今回補正増となります2億9,458万円、こちらのざっくりとした内容なのですが、大半を占めますのが、19節の扶助費2億9,088万2,000円でございます。

主なものといたしましては、障がい者に対する共同生活援助、いわゆるグループホームへの入所の費用ですね、こちらが約8,570万円。

また、就労継続支援B型就労支援といったところですが、こちらが8,460万円。

その他、放課後等デイサービスなど、障がい児に対する費用が約4,400万円、はい。

そういったものが主な内容となっております。

当初からの見込みが、そこがなかったのかという内容があったかと思いますが、障がい者の自立支援の給付費の当初予算につきましては、利用者の人数に基づきまして、積算を行っております。

給付費におきましては、利用頻度ですとか、サービスの種類などによって、これが大きく利用の単価が変わってまいります、はい。

例えば、グループホームへの入居となりますと、毎日利用ということになりますし、通所系のサービスですと、生活介護といった訪問して、週に1回とか、月に何回とか、そういった方が毎日利用するようなサービスに変換されますと、金額が大きく増加するものとなっております、はい。

それで、こうした利用の状況の傾向というのが、年度の途中にならないと顕在化しないといえますか、判明してこないということで、今回大きな補正となっております。

また、もう1つですね、その裏づけといたしましては、補正予算を試算するに当たりまして、前年の4月から8月、相対する月ごとに傾向を見たところ、利用者数自体は3%ほどの増加なのですけれども、金額でいきますと、8%ほど増えていたと。

それで、こちらを年間に換算しまして、今回の金額は総額で9.2%の増ということで、ちょっと当初では見込めなかった増加というものがあつたのだと考えております。

はい、以上で説明を終わります。

○石川部会長 早川委員。

○早川委員 はい、いろいろな状況下がよくわかりました。

ありがとうございます。

続けていいですか。

○石川部会長 はい、どうぞ。

○早川委員 はい、では続いて18ページ、民生費の扶助費のところ、生活保護扶助費が大きく4つ、生活扶助費、住宅、医療、葬祭とありますが、それぞれの、ここ2、3年の各項目の上下する推移のトレンドというか、どこが増えているとか、減ってきているとかというようなトレンドみたいのがあれば教えてください。

○石川部会長 執行部の説明をお願いします。

どうぞ。

○高根澤厚生課長 はい、厚生課長の高根澤です。

質疑にお答えいたします。

こちら、先ほどいろんな扶助費の種類があつたかと思えますけれども、そちらについては、それぞれ医療費で助成であるとか、生活扶助費であるとかというところではなくて、こちらについては、これ令和6年度から、受給世帯数のほうの増加というものが見込まれております。

そちらは、生活保護費の廃止数というのは多いのですけれども、それ以上に開始の方が多いということで、増加が続いているという傾向になっています。

それで、今年度も世帯数の増加が傾向にありまして、その1世帯当たりのほうの扶助費の平均額というのは横ばいでありますから、世帯が増えるということで、扶助費のほうが増えているということで、今回につきましても、医療扶助費では5.5%、生活扶助費では4%のほうの増というものを見込ませてもらっているというふうになっております。

以上になります。

○石川部会長 早川委員。

○早川委員 はい、ありがとうございます。

横ばいだと、世帯数が増えているからだということで、よくわかりました、はい。

続いて。

○石川部会長 ほかに質疑ある方、大丈夫ですか。

はい、では、早川委員。

○早川委員 はい、すみません。

では、続いて 20 ページ、衛生費の 6 目、子育て支援保健対策費のこども医療対策事業費にありますが扶助費、医療扶助費というのが約 3,000 万円あるのですけれども、これの、具体的な医療費の内容というか、こういった疾病とか、そういったものが、何かこういった傾向がある、そういったものがわかる範囲で結構ですので、把握している範囲で結構ですので、教えてください。

○石川部会長 はい、どうぞ。

○古橋子育て支援課長 子育て支援課長の古橋です。

早川委員の質疑にお答えいたします。

まず、こども医療費対策事業なのですけれども、こちらについては、医療費の自己負担分を助成する事業となっております。

それで、医療機関から診療報酬明細的なものは、市のほうにはちょっと届きませんので、詳細な分析というのはできないのですけれども、まず県のほうで、今年 11 月 20 日に公表している内容ですと、インフルエンザが今期初めて警報レベルを超えたのが 11 月の半ばということで、昨年と比べて、6 週早くというところが公表されております。

それで、その年齢別に見ると、19 歳以下の若年層が約 8 割を超えているというところで、これが少なからず鹿沼市内でも影響していると考えております。

以上で説明を終わります。

○石川部会長 早川委員。

○早川委員 はい、わかりました。

ということは、例えば、栃木県国民健康保険団体連合会とか、そういうところから詳細な説明とか、情報データはこないということですのでよろしいですね。

○石川部会長 はい、どうぞ。

○古橋子育て支援課長 はい、こちらの子育て支援課のほうには、そういった情報はきておりません。

はい、以上で説明を終わります。

○石川部会長 ほかに質疑のある方は。

別段質疑もないようですので、以上で議案第 72 号についての質疑を終結いたします。

次に、議案第 73 号 令和 7 年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

執行部の説明をお願いします。

山形保険年金課長。

○山形保険年金課長 はい、保険年金課長の山形です。

よろしくお願いします。

議案第 73 号 令和 7 年度 鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について、説明いたします。

まず、歳入について説明いたします。

令和7年度補正予算に関する説明書、国民健康保険特別会計の3ページをお開きください。

1段目、5款 県支出金 2項1目 保険給付費等交付金 29万9,000円の増につきましては、歳出4款 保健事業費が人事院勧告に伴い増額となるため、県からの交付金を計上するものであります。

2段目、7款 繰入金 1項1目 一般会計繰入金 866万7,000円の増につきましては、歳出1款 総務費が人事院勧告に伴い増額となるため、一般会計からの繰入金を計上するものであります。

次に、歳出について説明いたします。

5ページをお開きください。

1段目、1款 総務費 1項1目 一般管理費の説明欄1つ目の○、診療報酬内容点検専門員報酬 32万4,000円の増につきましては、診療報酬内容点検専門員の報酬及び期末・勤勉手当を人事院勧告に伴い計上するものであります。

同じく1段目の説明欄2つ目の○、国民健康保険関係職員給与費 824万3,000円の増につきましては、国民健康保険関係職員の給与、職員手当及び共済費を人事院勧告及び実績見込みにより計上するものであります。

2段目、1款 総務費 2項1目 賦課徴収費の説明欄1つ目の○、滞納整理補助員報酬 10万円の増につきましては、滞納整理補助員の報酬及び期末・勤勉手当を人事院勧告に伴い計上するものであります。

なお、滞納整理補助員は市税全般を取り扱っていることから、報酬等につきましては、12カ月のうち6カ月分を国民健康保険特別会計から、6カ月分を一般会計から、それぞれ支弁しており、令和7年度は4月分から9月分までについて、国民健康保険特別会計から支弁しております。

3段目、4款 保健事業費 1項1目 特定健康診査等事業費の説明欄1つ目の○、国保ヘルスアップ事業費 29万9,000円の増につきましては、糖尿病の重症化予防事業等の国保ヘルスアップ事業に携わる会計年度職員の報酬、期末・勤勉手当及び共済費を人事院勧告に伴い計上するものであります。

以上で、令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の説明を終わります。

○石川部会長 執行部の説明は終わりました。

質疑のある方は順次発言を許します。

早川委員。

○早川委員 はい、早川です。

6ページの一番下の保健事業費、先ほどの特定健康診査等事業費の国保ヘルスアップ事業、糖尿病の関係の費用とか、あと、その携わる方ということでしたが、国保ヘルス

アップ事業に携わる、その国保ヘルスアップ事業というのはどういったものか、もう少し教えていただけますか。

○石川部会長 はい、どうぞ。

○山形保険年金課長 保険年金課の山形です。

早川委員の質疑にお答えします。

国保ヘルスアップ事業につきましては、国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と医療費適正化を目的とした事業になっております。

生活習慣病の発症予防と重症化予防の両面から事業を推進しております。

この事業は、特定健診のデータやレセプトデータ等の健康・医療情報の分析結果から特定された健康課題を解決するため策定されたデータヘルス計画に基づき、各種保健事業を展開しております。

本市におきましては、入院・入院外を問わず、糖尿病及び糖尿病合併症関連の医療費標準化比が継続的に高い傾向にあるため、特に糖尿病の発症予防や重症化予防に重点をおいて事業を推進しております。

以上で説明を終わります。

○石川部会長 早川委員。

○早川委員 はい、内容はわかりました。

また、同時に鹿沼市は糖尿病の危険、そういう傾向が非常に高いということもよくわかりました。

気をつけます。

○石川部会長 はい、ほかに質疑はありませんか。

別段質疑もないようですので、以上で議案第 73 号についての質疑を終結いたします。

続けてしまっていていいですね、はい。

次に、議案第 74 号 令和 7 年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

執行部の説明をお願いします。

根本介護保険課長。

○根本介護保険課長 介護保険課長の根本です。

よろしくお願いいたします。

議案第 74 号 令和 7 年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について、一括ご説明いたします。

まず、歳入についてご説明いたします。

補正予算に関する説明書、介護保険特別会計の 3 ページをお開きください。

3 款 国庫支出金 2 項 2 目 地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業） 101 万円につきましては、過年度の地域支援事業交付金の再確定に伴う追加交付金を増額補正するものです。

次に、２段目、７款 繰入金 １項 一般会計繰入金 ３目 地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活総合事業） 15万9,000円、４目 地域支援事業繰入金（包括的支援・任意） 16万6,000円及び５目 その他一般会計繰入金 1,053万8,000円につきましては、人事院勧告に伴い介護保険関係職員及び介護保険認定調査員等の人件費を増額補正するものです。

次に、歳出についてご説明いたします。

５ページをお開きください。

一番上の段、１款 総務費 １項１目 一般管理費 881万9,000円及び次、２段目 １款 総務費 ３項２目 認定調査等費 171万9,000円につきましては、介護保険職員及び介護認定調査員の人事院勧告に伴う人件費を計上するものであります。

次に、３段目、４款 基金積立金 １項１目 介護給付費準備基金積立金 101万円につきましては、過年度の地域支援事業の再確定により計上したものであります。

次に、４段目、５款 地域支援事業費 １項１目 介護予防・日常生活支援総合事業 15万9,000円及び一番下の段、同じく５款 ２項１目 包括的支援事業・任意事業費 16万6,000円につきましては、会計年度任用職員の人事院勧告に伴う人件費を計上するものであります。

以上で、議案第74号 令和7年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第2号）についての説明を終わります。

○石川部会長 執行部の説明は終わりました。

質疑のある方は順次発言を許します。

別段質疑もないようですので、以上で議案第74号についての質疑を終結いたします。

次に、議案第75号 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

執行部の説明をお願いします。

山形保険年金課長。

○山形保険年金課長 はい、保険年金課長の山形です。

よろしくお願いします。

議案第75号 令和7年度 鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について説明いたします。

まず、歳入について説明いたします。

令和7年度補正予算に関する説明書、後期高齢者医療特別会計の３ページをお開きください。

１段目、３款 繰入金 １項１目 事務費繰入金 202万4,000円の増につきましては、歳出１款 総務費が人事院勧告に伴い増額となるため、一般会計からの繰入金を計上するものであります。

次に、歳出について説明いたします。

5 ページをお開きください。

1 段目、1 款 総務費 1 項 1 目 一般管理費の説明欄 1 つ目の○、後期高齢者医療関係職員給与費 202 万 4,000 円の増につきましては、後期高齢者医療関係職員の給与、職員手当及び共済費を人事院勧告及び実績見込みにより計上するものであります。

以上で、令和 7 年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）の説明を終わります。

○石川部会長 執行部の説明は終わりました。

質疑のある方は順次発言を許します。

別段質疑もないようですので、以上で議案第 75 号についての質疑を終結いたします。

以上で、今議会において、本部に付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

これをもちまして、予算決算常任委員会、教育福祉部会を閉会いたします。

（閉会 0 時 17 分）